

# 写経のご案内

延命十句観音経は、観音さまとの縁を深め、現世に安らぎを、来世に極楽往生の導きをいただくお経です。どうぞ一字一字に真心こめて、お写経いたしましう。この写経の功德は、皆さまと観音さまとを深いご縁で結びます。

## 延命十句

観世音南無仏

与仏有因与仏有縁

仏法僧縁常楽我浄

朝念観世音暮念観世音

念念従心起念念不離心

南無大慈大悲観世音菩薩

南無阿弥陀佛

為

写経願主

令和 年 月 日



「為」の下には、願い事をお書きします。あなたにとって、大切な願いを思いめぐらして心を込めて書きましよう。

- 例 「家内安全」 「先祖供養」 「家族健康」
  - 「病氣平癒」 「無病息災」 「身体健全」
  - 「災厄消除」 「極楽往生」 「心願成就」 等
- 他、随意に書きましよう。

写経はお経を一字一字ずつ丁寧に写すことで、仏さまの功德をいただきます。お経の文字一つ一つが仏さまのものとも言われています。写経をすることによって、ご自身のありのままの心をつめ、安らぎのひとときを感じる事ができます。日常を離れた心静かな時間は、あなたの心を豊かにしてくれるでしょう。自身の祈願やご先祖様の供養のためにも、写経は大切な修行であるといえます。

手洗い、うがいなど身心を清め、写経しやすい姿勢で座り、呼吸を調べて身心をリラックスします。お経を唱え、筆をとり、写経します。無理のない速さですすめます。終わりに手を合わせ感謝と願いをこめて仏前に納めます。

## 意訳 延命十句観音経

観音様

どうか人の世の苦しみをお救い下さい人の苦しみをすくおうとなさるそのころこそ仏さまのみこころであり私たちのよりどころですこの仏さまのころが私たちの持つて生まれた本心でありさまざまなご縁にめぐまれて私さまと 仏さまの教えと 教えをともに学ぶ仲間とによってわたしたちはいつの世にあってても変わることはない思いやりの心を知り苦しみの多い中において人の為に尽くす楽しみを知りこの慈悲のころを持つて生きる事が本当の自分であり汚れ多き世の中で清らかな道であると知りました朝に観音さまを念じ夕べに観音さまを念じ一念一念 何をするにつけてもこの思いやりのころから行い一念一念 何をするにつけても観音さまのころから離れません

※大本山円覚寺管長 横田南嶺老師さまによる真訳です